



銀杏《愛校 自主自律》

～生徒一人一人が主役を果たす、「生徒が育つ学校」の創造～

宮内中学校 学校だより

新たな生徒会役員へのバトンタッチ・・・

「進 -Shin-」を今年度生徒会スローガンに掲げ、前年度踏襲にならない熱意溢れる行動力と実行力を示してくれた高橋春華生徒会長を中心とした令和6年度宮中生徒会執行部・・・本当に素晴らしい学校創造に奔走し、確かな成果を見せてくれたことに感謝いたします。

その思いと伝統を受け継ぎ、さらにこの宮中を生徒主体のより良い学校にするべく、新生徒会執行部を決める生徒会役員改選の立会演説会と投票が11月26日(火)に行われました。

今年度の立会演説会には、漆山小学校5・6年生も参観し、宮中生の素晴らしい姿を後輩に伝えることができました。全ての立候補者が、より具体的な公約について堂々と演説し、それを真剣な眼差しで見つめ、候補者一人ひとりの想いを心に受け止める宮中生の姿に、令和6年度の大きな成長を実感しました。3年生からの的を射た鋭い質問にたじろぐことなく、自分の公約に沿って答弁するそれぞれの立候補者の姿からも、未来の素晴らしい宮中への新たな発展予想図が浮かんできました。これからの宮中生徒会の活躍を、楽しみにしています。

令和7年度 新宮中生徒会役員の皆さん

- | | | | | | |
|---------|---------|--------|--------|--------|----------|
| ○生徒会長 | 栗野一颯さん | ○事務局長 | 中村羽菜さん | ○給食委員長 | 相貝柚来さん |
| ○生徒会副会長 | 大坂悠妃さん | ○生活委員長 | 高橋秀愛さん | ○美化委員長 | 佐々木ひまりさん |
| ○生徒会副会長 | 高橋海月さん | ○保健委員長 | 矢萩 月さん | ○広報委員長 | 高橋ゆりあさん |
| ○議長 | 竹田芽生さん | ○学習委員長 | 鈴木初音さん | ○応援団長 | 登坂拓歩さん |
| ○議長 | 加藤愛結花さん | | | | |



12月の主な予定

- 1日(日)：3年合格祈願祭
- 2日(月)：全校道徳「SNSを考える」
：3年進路指導委員会②
- 4日(水)：チャレンジテスト国語
：小中定例会議
- 5日(木)：全校クラスマッチ
- 6日(金)：生徒会中間総括会
- 9日(月)：学校保健委員会
- 11日(水)：チャレンジテスト数学
：Super Wednesday
：3年進路指導委員会③
- 13日(金)：大掃除
- 18日(水)：チャレンジテスト英語
- 19日(木)：3年三者面談開始
～24日(火)まで
- 21日(土)：吹奏楽部アンサンブル
コンテスト地区予選会
- 25日(水)：2学期終業式
：チャレンジテスト国語
：進路激励会
：Super Wednesday
：職員会議
- 27日(金)：生徒会リーダー研修会
：仕事納め
- ☆≡ 冬休み：12月26日(木)
～1月6日(月)
- ☆≡ 3学期始業式：1月7日(火)

“中学生ふるさとづくり作文コンクール”でも大活躍

南陽市の偉人、結城豊太郎先生の遺徳に学ぶとともに地域の良さを見直し、地域づくりや国づくりへの思いをしたためてほしいとの願いが込められた標記コンクール。本校校長室で結城記念館館長の佐藤広行様には、「結城先生の生き方から学び、これからの自分に生かそうとする姿よく伝わる素晴らしい作品ばかりでした。」とのお褒めの言葉とともに表彰していただきました。入賞された皆さん、おめでとうございます。

南陽市立結城豊太郎記念館

第10回中学生ふるさとづくり作文コンクール入賞作品

- ◆**優秀賞** 「結城先生に出会って変わったこと」 3年 梅津悠人さん
「私の「公民」の生き方」 1年 菊地楓心さん
- ◆**佳作(兼 奨励賞)** 「志を高く持って」 1年 石黒千倅さん
- ◆**佳作** 「地域のためにできること」 2年 高橋慶樹さん
「16年後の自分」 2年 漆山瑛斗さん



南陽市中学校芸術鑑賞教室 ～シエナ・ウインド・オーケストラ～

11月27日(水)、シェルターなんようホールを会場に、中学校芸術鑑賞教室が行われました。今年度は、シエナ・ウインド・オーケストラによる公演でした。このシエナ・ウインド・オーケストラは、1990年に吹奏楽の可能性を追求すべく結成されたプロの吹奏楽団で、全国各地を公演しながら、将来を担う子どもたちの豊かな感性を育み、芸術鑑賞能力の向上に寄与されています。

指揮者の井村誠貴さんは、「音楽は生き物」であり、同じ曲でもその時のコンディションや会場でも全く違うものになると、音楽や吹奏楽の奥の深さを教えてくれました。指揮者体験での高野さんのタクト姿は本当に楽しそうで、市代表の高橋春華さんの挨拶も素敵のひとつ時に華を添える素晴らしいものでした。



「校長の独り言・・・」

「書くもの何かある?」と、目の前にいたある生徒に訊ねました。すると、すかさず動いた彼は、どこからか、ペンと紙を持ってきてくれました・・・。

また、ある時の掃除の時間。「ほうき持ってきてくれる?」とお願いをすると、彼女はすぐさま、ほうきとちりとりを持ってきてくれました・・・。

「書くもの」「ほうき」と言われ、それだけ準備することは誰でもできますが、相手は何をしようとしているのか、何を求めているのかを想像して行動することは、大人でも難しいことです。

本校ではいつの頃からか、校長室掃除は、三年生が担当してくれています。校長室はカーペット敷なので、掃除機での掃除になります。掃除機は昔ながらの紙フィルター式。そんなことはお構いなく、担当になった三年生は、いつでも誰でも、黙々と掃除をしてきています。とても、ありがたく、そして頼もしく感じています。中には、掃除機の先端を外して、ソファの上のほこりを丁寧に吸い取ったり、普段、手の届かないテーブルやソファの下まで手を伸ばしたりして、使う人の気持ちになってきれいにしてくれる三年生も多くいます。

当たり前のことであっても、使う人のためを思って行動してくれている三年生に感謝です。

